

### 10.1 支援物資の募集・受入・配布（佐用町）

佐用町地域防災計画では、支援物資の受入れについて総務対策部が広報、受け入れ、仕分けを担当し、生活対策部が避難所等への配布を担当することとなっていたが、支援物資に関する広報は行っておらず、生活対策部が受け入れ、仕分けから配布までを行った。

災害発生の翌日から、道路状況を勘案し、大型貨物自動車の乗り入れが可能な佐用中学校体育館を支援物資の受け入れ場所とし、10日未明に支援を要請していた日本赤十字社からの毛布、緊急日常生活用品セットなどを同日午前中に受け入れ、その日のうちに各市町からの毛布などの支援物資や各大手企業やメーカーなどから申し出のあったペットボトルの飲料水の受け入れを行った。

その後は道路状況及び搬入車両により直接配布可能な、また、各避難所等へ分類配布ができる役場敷地内の勤労者体育センターで保管配布を行った。

災害当初、生活対策部では、支援物資の申し出を断っていたが、全国から非常に多くの支援申し出があり、生活対策部の判断で受け入れることを決定した。

支援物資の受け入れにあたって、品目や質、量などについての町の基本方針がなく、受け入れの作業量や事務量が膨大になったが、申し入れがあったもののほとんどを受け入れた。

支援の申し出に対して電話では飲料水、カップ麺や医薬品などは品目や必要数量を伝え、衣料は新品に限定していることをお願いしていたが、インターネットなどを活用した広報をしなかったため、全国から善意により、予定以上の飲料水や古着などが送られてきた。

支援物資の受け入れは、支援の申し出に対し品目・数量・輸送手段・輸送ルート・到着予定日時などの確認を行い、搬入後の仕分けは職員、教職員及びボランティアなどが協力して行い、品目ごとに保管を行った。

被災者のニーズは、被災当初は水や食料の要望が多かったが、数日後には復旧作業のための長靴や手袋となるなど日々必要品目が変化するため物資の不足が生じることがあり、全ての被災者ニーズに応えることができず、直接関係企業に支援を依頼し確保した物資もあった。

支援物資は、毎日3回配送する食料と合わせて生活対策部が各避難所まで搬送し、各避難所では担当職員が受領して、自治会長等の代表者が被災者に配布していたが、個々の被災者ニーズの把握や、在宅避難者及び縁故先への一時避難者の把握が困難であった。各指定避難所、本庁及び支所で常時配布を行ったが、支援物資が十分に被災者に行き渡らない地域があるなど、きめ細かな配慮をした配布ができなかった。

当初受け入れを想定していなかった家具及び電化製品等の大型の物資についても、NPOやレンタル業者から申し出があったため急遽受け入れを決定し大型屋内施設である笹ヶ丘ドームで受け入れを行い、タンス、ベッドなどの家具及びテレビ、冷蔵庫、洗濯機など電化製品など約1,500点全品を被災者に公開し、申し込みを受け2度に渡る公開抽選会により全品の配布を完了した。

なかでも、マスコミ各社が支援物資として募集していることを報じたタオルは膨大な量となり水害の後かたづけに活用された。残ったものについては、分類整理後、今後の全国の被災地域への緊急支援物資とするため、西播磨科学公園都市内の県の広域防災拠点に預けることとした。

また、災害後3カ月以上経過した時点でも全国からの物資支援の申し出が相次いだ。これらはボランティアが引き継ぎ、被災地の中心部や各イベントなどで衣類や食器などの配布を行った。

10.2 給水・給食活動（佐用町）

(1) 給水活動

期 間	状 況
8/10～8/19	自衛隊、県内市町、西播磨企業団から 1t～3.5t の給水車により延べ 233 台が給水活動を実施



写真 2-10-1 自衛隊による給水活動



写真 2-10-2 他市町による給水活動

(2) 給食活動

期 間	状 況
8/10～9/11	8/14 ピーク時 14,000 食を配布



写真 2-10-3 給食支援の状況（久崎小学校）

10.3 災害ごみの収集・処理（佐用町）

災害ごみの受入箇所等一覧については表2-10-1のとおり。

なお、ごみ、がれきの搬出、処理については「兵庫県災害廃棄物処理の相互応援に関する協定」に基づき、職員の派遣要請とともにパッカー車やダンプカーなどの支援要請を行った。災害ごみに関する支援内容については表2-10-2のとおりである。

表2-10-1 災害ごみの受入箇所等一覧

受 入 箇 所	期 間	搬 入 量
佐用クリーンセンター	8/10～2月末	12,315 t
上月グラウンド	8/13～8/26	7,916 t
笹ヶ丘公園グラウンド	8/10～9/30	2,657 t
上月工業団地内	8/13～8/25	419 t
長谷盛土場	8/13～8/24	5,169 t
計		28,476 t

表2-10-2 災害ごみに関する支援一覧

支援内容	期間	延べ人員等
道路堆積土砂・ ゴミの除去	8/13～8/23	各地域、兵庫県建設業協会（姫路・尼崎支部ほか） 災害ボランティア活動
	8/20	町道暗渠・側溝清掃 兵庫県環境事業商工組合・中播磨環境整備事業 組合ボランティア活動
災害廃棄物処理 対策	8/11～8/26	応援24市町、延べダンプ464台、パッカー車209 台、その他122台 兵庫県建設業者組合から多数支援あり



写真2-10-4 他市町による災害ごみの収集応援



写真2-10-5 災害ごみの仮置き場  
【上月グラウンド】

表 2-10-3 佐用町災害廃棄物処理実績

(平成22年2月19日現在)

可燃 ごみ	区 分			処分量 (t)	処 分 先
	木くず (t)	タタミ (t)	混 合 (t)		
	402.0	275.0		677.0	姫路市市川美化センター
	107.0			107.0	姫路市南部美化センター
			335.0	335.0	姫路市くれさかクリーンセンター
			63.0	63.0	たつの市揖龍クリーンセンター
	403.0			403.0	相生市美化センター
	560.0			560.0	尼崎市クリーンセンター第1工場
	1,512.0			1,512.0	尼崎市クリーンセンター第2工場
	548.0		1,115.0	1,663.0	西宮市西部総合処理センター
			1,395.0	1,395.0	神戸市東クリーンセンター
			581.0	581.0	神戸市西クリーンセンター
			1,595.0	1,595.0	神戸市布施畑クリーンセンター
			160.0	160.0	神戸市苅藻島クリーンセンター
			416.0	416.0	明石クリーンセンター
			166.0	166.0	芦屋市環境処理センター
			67.0	67.0	宝塚市クリーンセンター
			65.0	65.0	加西市クリーンセンター
			359.0	359.0	佐用クリーンセンター
	1,792.0			1,792.0	イボキン (チップリサイクル)
計	5,324.0	275.0	6,317.0	11,916.0	

不 燃 ご み	タイヤ	62.5	イボキン
	不燃 (ガラス・ビン等)	36.0	イボキン
	コンクリート (リサイクル)	2,670.5	船曳土木工業
	コンクリート・かわら	4,073.0	佐用クリーンセンター
	土砂	8,818.0	佐用クリーンセンター
	金属	699.8	イボキン
	家電	84.8	イボキン
	家電 (リサイクル)	109.7	大山環境整備自動車
	有害 (バッテリー・ガスボンベ等)	6.6	佐用クリーンセンター
計		16560.9	

合 計		28476.9	
-----	--	---------	--